

学校教育目標 未来に向かって力強く生きる ひとみ輝く 和土っ子の育成

～ やさしい子:やさしいっばい かしこい子:かっぱい たくましい子:やる気っばい ～



和土小だより

さいたま市立和土小学校

令和6年 8月28日(水)

8・9月号 発行者 池田 誠

〒339-0033 さいたま市岩槻区黒谷1353番地 TEL048-798-0208 / FAX048-798-8730

学校Webページ: <https://wado-e.saitama-city.ed.jp/> Eメール: wado-e@saitama-city.ed.jp

児童数 149名

この夏のよかったこと

校長 池田 誠

花壇やじゃぶじゃぶ池の周辺を歩くと、夏を過ごし、大きく成長したショウリョウバッタやエンマコオロギが、よく飛び回ります。時には私の体にも止まります。その様子に、和土っ子が、楽しそうに捕まえようとする姿が目につかびます。

今年の夏も、大雨や地震、台風などの自然の力の脅威を感じました。ご家族や近隣の方々と対応や避難の仕方などについて相談された方もいらっしゃると思います。私も家族や離れて暮らす親と、避難方法などを確認したところでした。科学者で随筆家の寺田 寅彦氏が言われた、「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉を、改めて強く心に留めました。

この夏のよかったと思うことをお話します。

「積読(つんどく):本を購入し、いつか読もうと思ってはいるものの、本を読まずに放置してある(積んである)状態、『積んどく(積んでおく)』に掛けた造語」の解消に取り組むことにしました。積読の本の中には、ポップに目が留まり購入したビジネス書や、先輩の校長先生に薦められた専門書などいろいろな本がありました。読書が得意でないにもかかわらず、思慮せずに購入してしまった本もあり、反省することもありました。

どの本から読み始めようかと迷いながら、数冊の本を手に取り、数ページずつ目を通しました。すると、ある歴史小説家の作品に興味をもつようになりました。歴史上の実話をもとにしているかのような歴史解釈や、登場人物の気持ちの機微を表す巧みな表現、臨場感あふれる駆け引きなどに心惹かれました。この方の作品に魅了され、文庫本を1日で読み終えてしまうこともありました。

この歴史小説家の作品との出会いで、読書の楽しさを再確認できたようでした。読書の時間を作り、積んであったビジネス書や専門書も読み始め、それぞれの本の楽しさや面白さを味わっています。「積読」はまだまだ解消していませんが、今後も読書を大切に、本との出会いを楽しみたいと思っています。

今日から2学期が始まり、和土っ子の明るいあいさつの声が戻ってきました。この夏、和土っ子にも、よかったと思えることがきっとあったと思っています。じっくりと聞いてみたいと思っています。

教室での学習をはじめ、遠足や修学旅行、校内音楽会、持久走記録会など数多くの行事を予定しています。日々の学習と各行事を通して、和土っ子の健やかな成長に向けて尽力していきます。

暦の上では秋を迎えたとはいえ、夏のような暑さが続いています。くれぐれもお体にお気をつけてお過ごしください。保護者、地域の皆様、2学期も引き続き本校の教育活動の推進のためにお力添えを心よりお願い申し上げます。

城南中学校区3校合同研修会を実施!



8月21日(水)の午前中に、城南中学校区の教職員が新和小学校に集まり、合同研修会を実施しました。前半はさいたま市スクールロイヤーの方よりいじめの対応にかかる講演と、3校の教職員が数グループに分かれ、実際のいじめの対応の演習を行いました。後半は各小学校から「花笑み教育」の実践と今後の計画について報告を行いました。短い時間でしたが、有意義な学びの機会となり、2学期以降の教育活動も連携して行うことを確認して、閉会となりました。

飲用水直結化工事、終了!

夏季休業中に工事を行った「飲用水直結化工事」ですが、無事に終わりました。昇降口などにある外水道は、さいたま市水道管に直結しました。さらに、花壇入口には水飲み場が新設されました。工事に際しまして、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

